

平成 21 年度「東海北陸地区技術職員研修」報告書

実習工場班 船本和重
実習工場班 内野 拓
電気・電子・情報系班 中村玲治

1.はじめに

H21/8/5～7 にかけて本校で行われた「東海北陸地区技術職員研修」について報告します。

2.スケジュール

- 8/5
- 1.開講式
 - 2.沼津高専における私の教育と研究、そしてこれからの高専教育
 - 3.討議
 - 4.懇親会
- 8/6
- 1.簡易霧箱製作と環境放射線の観察
 - 2.現場力を高める
 - 3.安全管理の基本的考え方と手法について
 - 4.企業見学・自然観察
- 8/7
- 1.知っておきたいセキュリティの常識
 - 2.ソリッドワークスを用いた 3D-CAD
 - 3.キャリアアップのための“技術士”資格取得のすすめ
 - 4.発達障害の特性を有する学生への対応と自己分析

3.所感

1 日目 中村

特別講義では柳下校長から沼津高専の概要と自身の研究について話をいただいた。

その後行われた討論では、参加した技術職員が 5～6 人の班に分かれ、討議を行った。私の班では「技術職員が抱えている問題、その改善への提案」をテーマにして活発な議論が交わされ、私も積極的に発言した。

ホテル沼津キャッスルで行われた懇親会では、さまざまな年齢層の技術職員との交流を深めることができた。

2 日目 内野

- ・簡易霧箱製作……自然界にも霧箱で観測できるほどの放射線があるということに驚かされた。
- ・現場力を高める……改良のヒントは現場にこそあると主張する HKS 社長のバイタリティのほうが、内容よりも印象に残った。
- ・安全管理……安全文化を関係者間で共有することが大事だと学んだ。
- ・企業見学……医療用機器の企業ということで衛生管理が行き届いていた。大量生産とは違った多品種少量生産のための生産体制(セル方式)も興味深かった。
- ・柿田川湧水……ほとんど市街地と言っていい場所にこのような自然があるのは素晴らしい。

3 日目 船本

「知っておきたいセキュリティの常識」：セキュリティの常識を知らないので、大変参考になった。

「ソリッドワークスを用いた 3D-CAD」：操作が大変難しかった。

「キャリアアップのための“技術士”資格取得のすすめ」：技術士の資格を取得するのが困難であることがわかった。

「発達障害の特性を有する学生への対応と自己分析」：発達障害の学生への対応方法だけでなく、自己分析をすることの重要だとわかった。

「討議内容発表」：発表者だったが、まともな発表もできず、2 班の方々に申し訳なかった。